

科目	心理学基礎実験実習 I (心 A)	単位数	1
担当教員	宇恵 弘、多田 美香里、佐伯 恵里奈、林 美恵子		
履修対象	心理科学科 2 年春学期		
概要と目的	心理学の基礎的な実験を実施し、科学における実験の意義と方法の理解を深める。		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 実験の目的に合わせて実験計画を立てることができる。</p> <p>(2) 実験データの収集および処理を適切に行うことができる。</p> <p>(3) 実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成することができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) 実験を通して実証的な考え方をできるようになる。</p> <p>(2) 研究報告書の作成を通じて、科学的・客観的な表現ができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) 実験結果を様々な視点から考察することができる。</p>		
授業計画			
1	ガイダンスと復習課題：受講の注意点の確認、実験およびレポート作成に関する課題を行います。		
2	触 2 点 関：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
3	触 2 点 関：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
4	系列位置効果：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
5	系列位置効果：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
6	知覚運動学習：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
7	知覚運動学習：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
8	視覚探索：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
9	視覚探索：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
10	リーディングスパン：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
11	リーディングスパン：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
12	ストループ効果：実験の意義と目的を解説し、実験計画を立案し、実験を行います。		
13	ストループ効果：データの収集・処理、分析と解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
14	データ解析演習：実習の意義と目的を解説し、SPSS を用いたデータ解析方法を説明します。		
15	データ解析演習：SPSS によるデータ分析結果の出力とその解釈、報告書作成指導、個別質問受付を行います。		
授業形態／具体的な内容	各テーマを 2 週ずつ順に行う予定です。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。実験の他にレポート作成練習課題、復習課題等を行います。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。			
参考書	心理学実験指導研究会（1985）実験とテスト＝心理学の基礎 培風館 日本心理学会認定心理士資格認定委員会（2015）認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎 金子書房		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準：実験報告書（レポート）が作成でき、心理学の実験について理解すること。 成績評価の方法：各レポートは、別途配布する評価表の基準によって 100 点満点で評価します。4 つのレポートの平均点を 80%、受講態度（実験への貢献度、積極性等）を 20% とします。		
留意点	授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 レポート（実験の報告書）はすべてのテーマで提出し、期限までに提出されない場合は成績評価対象になりません。		
準備学習	この実習で扱うテーマに関する用語を各自調べてくること（1 時間程度）。 この実習で扱ったテーマに関する文献を調べまわめてくること（1 時間程度）。		
備考	提出されたレポートはテーマ担当教員が採点・添削して返却します。レポートは各自で保管し、次のレポート作成に役立ててください。なお、合格点に達しないレポートには再提出を課します。期限までに再提出されない場合、そのテーマのレポートは 0 点になります。		No. PY622001